



発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町2
電話3033番
編集兼
発行人 境 孜

分裂から一年がきた

団結固めねばり強く

困難にめげず誇り高く前進を

われわれはじめて経験した組織分裂から一年を迎えた。組織の分裂が労働者に何をもちたかを、われわれはこの一年の闘いでいやうと思ひ知らされた。会社の分裂支配の手についた裏切り行為は断じて許さない。減賃と差別攻撃の中で分裂一年を迎え、われわれは、総評からの百万円臨時カンパをうけて団結集会をひらいた。新たな決意と前進を誓ひ合おう。

われわれはじめて経験した組織分裂から一年を迎えた。組織の分裂が労働者に何をもちたかを、われわれはこの一年の闘いでいやうと思ひ知らされた。会社の分裂支配の手についた裏切り行為は断じて許さない。減賃と差別攻撃の中で分裂一年を迎え、われわれは、総評からの百万円臨時カンパをうけて団結集会をひらいた。新たな決意と前進を誓ひ合おう。



あれから一年。分裂直後、市中をパレードする第二組合幹部。その道は暗黒への道。

本紙三面に連載の「あれから一年」は、ちようど分裂一才二組合結成の時期にあたるので、一面に特集しました。

三月十五日、中央委員六十数名の要請により中央委員会をひらいたが、席上六十数名(二名は現在も三池炭鉱)を代表し、菊川が闘争方針の変更を要求する屈辱的な提案をひらいた。これは、会社から出されているものと全く同様の案であり、会社の考えを忠実に代弁するものとして注目すべきものがあった。

原委員長よりの激励



この一年間、わたしたちは苦しい闘いを続けてきました。一年前のこの日の分裂はわたしたちに不幸をもたらしたものであります。この闘いの記念日に、第二組合はパレードをするつもりです。

三月十五日、中央委員六十数名の要請により中央委員会をひらいたが、席上六十数名(二名は現在も三池炭鉱)を代表し、菊川が闘争方針の変更を要求する屈辱的な提案をひらいた。これは、会社から出されているものと全く同様の案であり、会社の考えを忠実に代弁するものとして注目すべきものがあった。

太田議長よりの激励



今の春闘で全労働者の闘争は、われわれが中心にならなければならぬ。われわれは、この闘いを勝利に導くために、全労働者の闘争をリードするつもりです。

三月十五日、中央委員六十数名の要請により中央委員会をひらいたが、席上六十数名(二名は現在も三池炭鉱)を代表し、菊川が闘争方針の変更を要求する屈辱的な提案をひらいた。これは、会社から出されているものと全く同様の案であり、会社の考えを忠実に代弁するものとして注目すべきものがあった。

三月十五日、中央委員六十数名の要請により中央委員会をひらいたが、席上六十数名(二名は現在も三池炭鉱)を代表し、菊川が闘争方針の変更を要求する屈辱的な提案をひらいた。これは、会社から出されているものと全く同様の案であり、会社の考えを忠実に代弁するものとして注目すべきものがあった。

三月十五日、中央委員六十数名の要請により中央委員会をひらいたが、席上六十数名(二名は現在も三池炭鉱)を代表し、菊川が闘争方針の変更を要求する屈辱的な提案をひらいた。これは、会社から出されているものと全く同様の案であり、会社の考えを忠実に代弁するものとして注目すべきものがあった。

三月十五日、中央委員六十数名の要請により中央委員会をひらいたが、席上六十数名(二名は現在も三池炭鉱)を代表し、菊川が闘争方針の変更を要求する屈辱的な提案をひらいた。これは、会社から出されているものと全く同様の案であり、会社の考えを忠実に代弁するものとして注目すべきものがあった。

みいけ日誌

- 3月13日 企画委員会、公判＝福岡刑事三部(15日まで) 職対＝船尾職業訓練所試験(13日まで)
- 14日 中央執行委員会、第二回保安団交、教宣部長会議、総務部長会議、製作所支部会議、職対＝職対会議
- 15日 大地評執行委員会、九本地方委員会、福労金理事會
- 16日 賃金・政策討論集會於(労働会館)企画全盛全盛連闘争支援(久留米へ300名)公判＝全学連(18日まで)
- 17日 予算委員会
- 18日 予算委員会、教宣部長会議、九本財政部長會議、職対＝船尾訓練所再試験

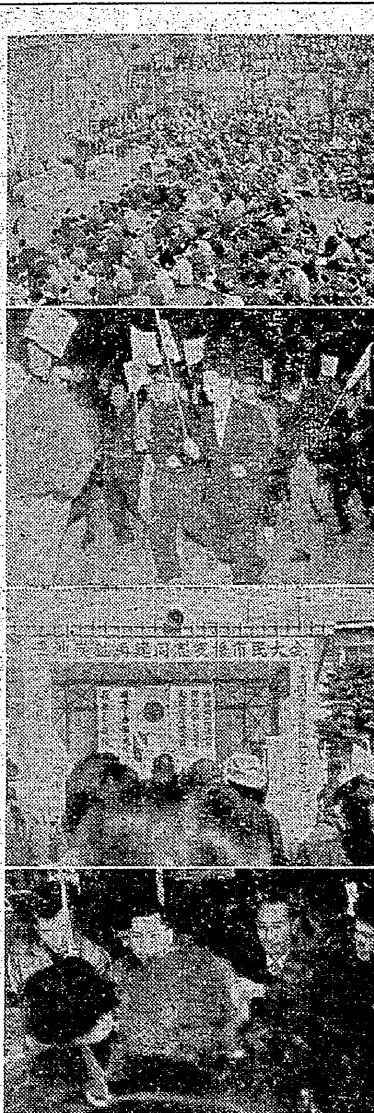
早急に闘う態勢を 切実な若い層の声

分裂一年を迎えたわれわれは、減賃と差別攻撃の中でそれに屈せずつよの抵抗をききあげていくが三池支部外職場の行動隊の若手人たちが、さうさうと意見を述べてくれた。

行動の統一も必要だ。分裂から一年たった。当時と今では国内情勢も若干ちがってあり、安保と三池を一年たてたつてきたが、スカッとした情勢にある。

総評百万円の臨時カンパ

組織分裂後二年をむかえた三月十九日、各地分会毎に家族ぐるみで百万円の臨時カンパが配分された。総評の仲間はけしきよくこれをがらう。



【写真】上から、闘争放棄を主張して退場した中央委員会。退場後日の丸の旗を手に市民会館へ。分裂を祝う再建本部。脱退届を提出した。

デモを組織、本部に引き揚げ、たにち各地域分会で再建本部に入ったのである。

生産再開を要求してちよう戦を表明

市民会館の闘争再開後には、大牟田再建本部などからパンや牛乳などが大量に持ちこまれ、結成後には、自宅まで「灯をともす会」や再建本部のニュースカーで送りこくという始末であった。

そして彼ら分裂主義者たちは三月十七日午前八時すぎから、大牟田市民会館で正式に第二組合を結成し、公然たる裏切り行為として資本家を脅かす人間としての態度をみせたのである。

当日、津川を組合長とする陣容をととのえ、駅前通りの三井生命事務所をわきま他所に移転させ、そこを事務所をなまえ、第二組合の看板をかかげた。

そのあつたところ、そのことばちやんと組合員がみえなくてはならぬ、わきま他所に会社と交際して第二組合を会社に承認させる形をとつたのである。

そして、彼らだけで生産再開をする主張として、われわれに敵対行為をすることを表明した。

積極的な攻撃せよ

〇早急にならうと体制を確立して闘う。そのために、われわれは、第二組合の闘争意識をより上がつけていく。個人個人でも職制の切斷に抵抗しに行くことが必要だ。職制に対する闘争方針を出して闘うのだ。切斷は第二組合員より職制が主だ。また、職場分会長(坑外)の一人はこう述べた。

坑外はまさに人的給与だ。自分の場合五十五、二十数年も勤続しての二万四千五百円。若い人たちは七、八千円だ。若い人の中にはやきやきと、坑内への希望が多いが、それによつていかなることによつて闘争する人はさうな。逆に闘争心をあきらめてくる。

組合もこのへんまで、あつた積極的な行動をうけてもらいたう。そうであれば、この決議はますます苦しくなるが、このへんで攻撃の体制をつくり、この情勢の中で闘うのは苦しいが、しかし闘わなければならぬ。これは断固として闘うつもりだ。